

いま、死刑制度をみつめる

日時 2008年
11月12日(水)
11:00~12:30 (開場10:50)

場所 **聖学院大学 ヴェリタス館1階
教授会室**
埼玉県上尾市戸崎1-1
JR宮原駅・日進駅より学生バスがあります

講師

寺中 誠 社団法人アムネスティ・
インターナショナル日本事務局長

阿久戸 光晴 聖学院大学学長

コーディネーター

石川 裕一郎 聖学院大学政治経済学部准教授/憲法学

高橋 愛子 聖学院大学政治経済学部准教授/政治学

**入場
無料**

「極刑待望」というメディアの煽りと世論の高まりを背景とし、近年日本では死刑判決が急増、その執行も相次いでいる。しかし、世界に目を向ければ死刑廃止の奔流は否定すべくもない。すでに世界の7割において、死刑廃止が実現しているのである。なぜ日本では世界の流れに逆行する事態が生じているのか？ 日本で死刑廃止は不可能なのか？ 本企画では、国際人権法とキリスト教という2つの視座から、この古くて新しい問題に挑む。

【主催】 聖学院大学 政治経済学部

お問合せ

聖学院大学 総務課 〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1 TEL 048-781-0925 FAX 048-726-2962

E-mail : pru@seig.ac.jp URL : <http://www.seigakuin.ac.jp>

会場案内図



いま、死刑制度をみつめる

プロフィール



寺中 誠

社団法人アムネスティ・
インターナショナル日本事務局長

1960年生。早稲田大学法学研究科博士後期課程単位取得。専攻は犯罪学理論・刑事政策論。2001年より現職。東京経済大学非常勤講師。死刑廃止に関する論文として、「死刑は、政治的意思によって廃止できる：人権侵害の象徴としての死刑」（『世界』779号）、「政治情勢と死刑：80年代ソ連での動きを中心として」（『自由と正義』42号）、「政治的文脈のなかの死刑」（『インパクション』80号）など。他に『平和・人権・NGO』（共著、新評論）、『外国人包囲網』（現代人文社）、『国際NGOが世界を変える』（東信堂）、『入門国際刑事裁判所』（現代人文社）など。

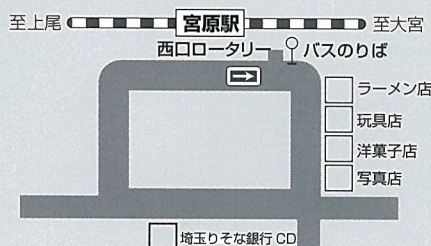


阿久戸 光晴

聖学院大学学長

1951年生。一橋大学社会学部・同法学部卒業。東京神学大学大学院博士課程前期修了（神学修士）。米ジョージア大学法学部大学院特別研究生等を経て、1995年に聖学院大学助教授。同教授、副学長を経て2003年より現職。キリスト教文化学会理事長、荒川区不正防止委員会委員長代理、日本基督教団滝野川教会協力牧師。専攻はキリスト教社会倫理学、人権・デモクラシーの神学。著書に『新しき生』（聖学院ゼネラルサービス）、『近代デモクラシー思想の根源：「人権の淵源」と「教会と国家の関係」の歴史的考察』（聖学院ゼネラルサービス）、『ヴェーバー・トレルチ・イエリネック：ハイデルベルクにおけるアングロサクソン研究の伝統』（共著、聖学院大学出版会）など。

学生バス 宮原駅西口(高崎線)のりば



宮原駅発：10時31分、43分、45分、
大学発：12時35分、43分、13時00分

学生バス 日進駅(埼京線)のりば



日進駅発：10時05分、35分、55分
大学発：12時35分、13時05分

交通手段

聖学院大学の最寄駅はJR高崎線宮原駅／JR埼京線日進駅。「大宮」から1駅で、どちらの駅からも徒歩約15分です。宮原駅・日進駅から学生バスを運行しています。（どちらの駅からも5分～10分ほどです。）

お問合せ

聖学院大学 総務課 〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎 1-1 TEL 048-781-0925 FAX 048-726-2962
E-mail : pru@seig.ac.jp URL : <http://www.seigakuin.jp>

【講演会予告】

湯浅誠、学生と語る

現代の貧困

——生きること、働くこと、そしてつながること

講演者：湯浅 誠

NPO法人自立生活サポートセンターもやい事務局長・
反貧困ネットワーク事務局長

日 時：2008/11/19 (水) 11:00-12:30

会 場：聖学院大学 チャペル

アメリカとは何か

—アメリカ史の文脈から考える—

講演者：奥平 康弘

東京大学名誉教授/憲法学

姜 尚中

東京大学大学院教授/政治学

日 時：2008/11/26 (水) 11:00-12:30

会 場：聖学院大学 チャペル